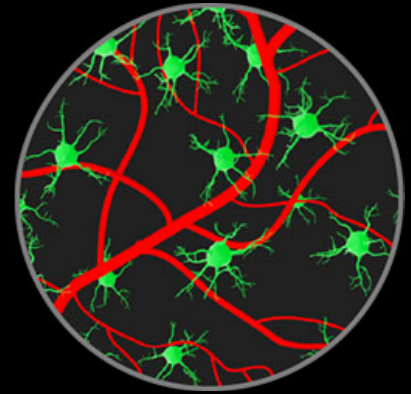


血流解析パッケージ

Inscopix の in-vivo 顕微鏡を用いて血流の解析が行えます。

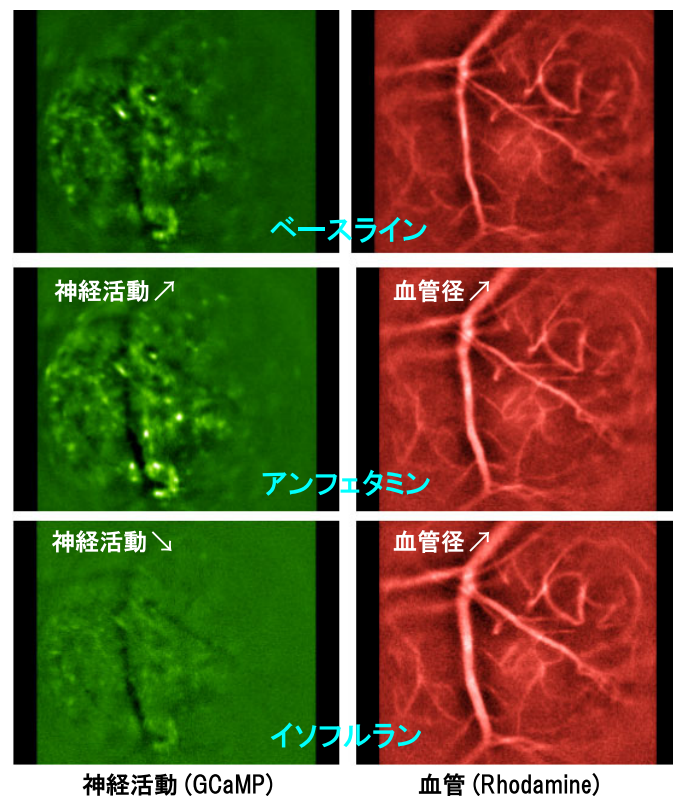
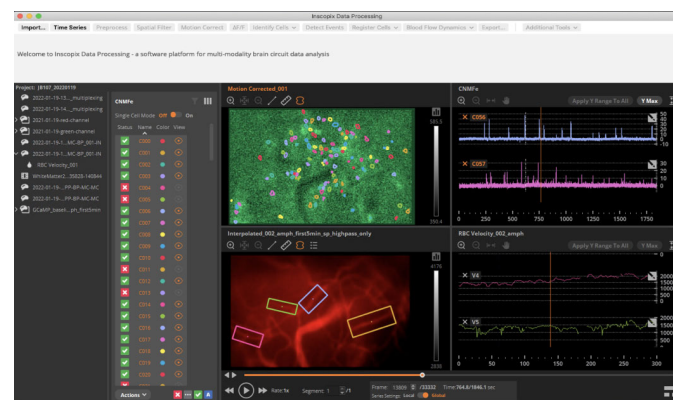


血流と神経活動の同時測定

血流と神経活動の複雑な関係が今、nVue システムを用いて自由行動中に同時測定が可能となりました。血流解析パッケージは血流と神経活動という2つの脳からの信号の可視化と解析を行なうソフトウェアパッケージです。Inscopix の in-vivo 顕微鏡で記録した血流データを解析可能な専用の IDPS で、スクリプトは不要です。2 カラー in-vivo 顕微鏡 nVue を用いると GCaMP による神経活動と Rhodamine-dextran による血管イメージングが同時に行なえますが、nVista および nVoke でも FITC-dextran による単独の血管イメージングは可能で、どちらも本パッケージで血管径・血流の解析が行なえます。

- ・神経活動と血流を同時に長期間測定（nVue のみ）
- ・血管径の測定、血流（赤血球の速度）、神経活動を解析
- ・自由行動中の皮質および脳深部の血流ダイナミクスを評価
- ・同じ細胞および血管を数日にわたり同定可能

血流の増加と神経活動の増加は必ずしも同時に起こるとは限りません。右の図はマウスの背側線条体にレンズを埋め込み、平常状態からアンフェタミンを投与しその後イソフルランで麻酔をかけたときの神経活動と血管イメージングを同時に行なった例です。アンフェタミン投与時は神経活動と血管径は同時に増加しますが、イソフルラン麻酔時には神経活動は下がり、血管径はさらに増加しました。このような複雑なダイナミクスを解析可能です。



型式	品名
1000-005781	血流解析パッケージ